

2015-B					
拠出金・基金の 名称		主要執行理事会拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】主要執行理事会（CEB）					
【所管官庁担当局課・室名】国土交通省水管理・国土保全局河川計画課国際室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 世界における水防災対策の推進及び我が国の水防災技術の海外展開に資する環境整備等に寄与するため、国連における防災と水に関する国連事務総長特使の活動支援等を通して、水防災に係る国際目標の達成に向けた活動を推進する					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	65,000	591		1米ドル= 110円	0
平成26年度	19,400	200		1米ドル= 97円	0
平成25年度	34,717	423		1米ドル= 82円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 2013年12月に、国連において防災と水に関する国連事務総長特使が任命され、その特使を中心として、水災害軽減に係る国際的な行動規範、防災主流化に向けた国際協力の枠組みの検討等が行われることとなった。日本としては、初期の段階から継続的に参加するとともに、その事務局に日本関係者を派遣し、国際的な議論をリードしてきた。これまでの国連の活動への参加等を通じ、仙台防災枠組2015-2030、SDGs(国連持続可能な開発目標)等の国連の各種文書に水と災害の重要性が位置付けられてきている。また、国連での水と災害に関する会合の開催を主導することなどにより、我が国の主張を積極的に展開している。					